

「岐阜の石積み学校 2016」の開催について

2016年8月10日より4日間、中津川市付知町にて、岐阜大学工学部社会基盤工学科准教授の出村嘉史（景観計画、都市形成史）が、下記の体験プログラム「岐阜の石積み学校 2016」を実施します。社会的な意義が大きい企画ですので、是非報道いただければ幸いです。

昨年8月に実施された「岐阜の石積み学校」の成功をうけて、継続的な実施のために今年度も企画するものです。先人たちが残してくれた「石積み」（空石積み）は、山から土砂が流出するのを防ぎ、一次産業や生活の動線を支え、日本の風景を美しく価値のあるものになっている重要な資源です。そして、手で積むことのできる石積みは、人の手が関わり続けさえいれば、ほぼ永久に保つことのできる持続可能な方法です。しかし、この技術は、最近ではほとんど使われなくなっているため、今、放っておくと失われてしまいます。

そこで、岐阜大学からもこのことについて発信し、技術を学ぶ全国の学生や若手社会人を対象にして、石積みを経験するプログラムとして、「岐阜の石積み学校」を開催することにしました。石積み体験をするプログラムは、全国でも少しずつ始まっているようですが、全国の若者を対象にして合宿形式で行うことは、あまり多くありません（徳島で実施されている同様のプログラムは、グッドデザイン賞を受賞しています）。

今回は、中津川市神坂にお住まいの石工・洞田由夫さんが講師となり、現存する石積みの修復（解体し、再構築する）を実践します。既に参加者募集は締めきっていますが、学生9名（岐阜大学の他、大同大学、神戸大学）、社会人6名（大学関連の他、造園業、地域おこし協力隊、左官業など）が参加予定です。

開催地は中津川市神坂で、中津川市神坂事務所や神坂活性化協議会のご協力を得て、市道の傍らにある擁壁面で実践的な石積みを行います。地域に対しては、重要な生活基盤を維持する御手伝いになるばかりでなく、技術継承のきっかけ、当地の地域的魅力の発信など多面的に貢献することになります。大学としては、超域的な交流の場づくりとなり、実践的な教育の機会が得られ、次世代に必要な、視野が広く実践力の高い人材育成ができます。受講生は、上記実践を通して、技術の実践や成し遂げるためのチームワークづくりのトレーニングになるばかりでなく、地域社会を支えるために必要な実践的知恵を学ぶことができます。

企画・運営：岐阜大学工学部社会基盤工学科 准教授 出村嘉史

協力：NPO 法人パイオニア 曾我亘之

若手社会人も参加OK

学生募集!

岐阜の石積み学校

みさか

東山道・中山道の交わる悠久の里 神坂で、石積みを学ぼう!

2016年8月10日(水)
～13日(土)

場所：岐阜県中津川市神坂町地内

対象：主に土木・造園・景観・地域活性化を学ぶ学生と、
興味をもって学びたい若手社会人

参加費：学生10000円、社会人20000円(いずれも宿泊費・保険料込み)

申込締切：7月22日(金)

応募の際は、氏名・所属・志望動機を添えて、下記までお申し込みください。
申込み・お問い合わせ先：demu@gifu-u.ac.jp(岐阜大学准教授 出村)

「岐阜の石積み学校 2016」プログラム改訂版

作成：出村・曾我

1. 目的

先人たちが残してくれた「石積み」は、放っておくと失われてしまう重要な技術です。地域に遺っている石積みの技術を学び、現存する石積みの修復（解体し、再構築する）を実践します。

地域に対しては、重要な遺産を蘇らせる御手伝いになるばかりでなく、技術継承のきっかけ、当地の地域的魅力的発信など多面的に貢献することになります。

2. 日時：平成 28 年 8 月 10 日～13 日 3 泊 4 日

3. 場所



○石積みの現場：中津川市神坂恵下地内
市道神坂 11 号線

○宿泊地：霧ヶ原公会堂

○拠点地（朝食、荷物預けなど）：地域活
性化センター 湯船の館

○毎日の温泉：クアリゾート湯船沢



4. 参加費：大学生 10,000 円 社会人 20,000 円

参加費には、宿泊、食費、温泉、保険代など全て含みますが、2日目の夕食は各自持ち、3日目のバーベキュー費用は別途頂きます。

5. 参加者人数：13名+講師・スタッフ

- 大学生 9名
- 社会人 4名
- 講師 洞田由夫さん、スタッフ 出村・曾我

6. 日程・内容（およその予定）

1日目（8月10日）			
時間	場所	内容案	備考
10:00	中津川駅集合		
10:30	神坂地域活性化センター 湯舟の館	始業式	
12:00			
13:00	現場	石積みはずし	
17:00			
18:00	湯舟の館	夕食	
19:00	クアリゾート湯船沢	温泉	
21:00	宿泊所	交流会	神坂の概要を学ぶ
2日目（8月11日）			
7:00	湯舟の館	朝食	
8:00	現場	石積み作業	・床掘り・根石設置 ・組み上げ
17:00			
18:00	クアリゾート湯船沢	温泉	
19:00	中津川市街	夕食	飲食店へ出掛ける
3日目（8月12日）			
7:00	湯舟の館	朝食	
8:00	現場	石積み作業	組み上げ・天端づくり 後片付け（終われば）
17:00			
18:00	クアリゾート湯船沢	温泉	
19:00	宿泊所	バーベキュー	地域の人及び関係者参加
4日目（8月13日）			
9:00	湯舟の館	朝食	
10:00		終業式・意見交換	
12:00			

* 現場では、石工の洞田さんの指導のもと、古い石積みを解体するところから再び組み上げるところまで一連の作業を行います。積み方は、間知石（けんちいし）の空積みです。

7. 参加者持ち物

【必須】

- 汚れてもよい服。作業時には長袖、長ズボンが必要です。靴下は分厚めのものがあるとよいでしょう。
- 2日分以上の着替え。（毎日洗濯はできますが、驚異的に汗をかきます。）
- タオルまたは手ぬぐい（作業中に首に巻く、温泉で使うなど、多用します。）
- 洗面具など（ホテルではないので、アメニティ的なものではありません。）
- 寝る時の衣類（朝夕は、寒いくらいです。地元の人でも夜は長袖長ズボンらしい。）
- 一発芸。

【あれば便利】

- ちょっと動き回るのに軽く履ける靴
- 作業用長靴（貸し出し用の長靴は準備しますが、持参できる作業靴がある場合には）または、安全靴
- 帽子（作業中はヘルメットを着用します。その他の時用）
- 日焼け止めなど
- 適宜虫よけ、虫刺され用塗り薬など。